

産業振興

小平市の魅力を多くの知恵の結集で広げよう

津本裕子議員(公明) ①市発の地図の配布方法と効果は。

②魅力発信の今後の展開は。

市長 ①市役所、出張所、公民館等で配布している。市内のウォーキング団体や市外の方々からも問い合わせがあり一定の評価を得ている。

②グリーンロード推進協議会のホームページを充実させ、市が多くのメディアに取り上げられるようにしたい。また各種マップに可能な限り最新情報を掲載し、小平の魅力を再発見できるようにしたい。

新しい食料・農業・農村基本計画と小平の農業振興

苗村洋子議員(生ネ) ①小平商工会との販路拡大の連携は。

②食べる側が生産現場を知る機会をふやす取り組みは。

市長 ①農のあるまちづくり推進会議では農業者や市民、JAや商工会等が連携し、地場産農産物の即売や飲食店での利用促進など地産地消を進めている。

②小平市観光農業協会及び農



夏野菜が並ぶ直売所(鈴木町1丁目)

業経営者クラブが実施する消費者交流会のほか、JAも市内の農家を見学するふれあいツアーを実施しており、消費者は農家の苦労を感じることができ、農家にとっても消費者の意見を聞く有効な場であると考えている。

小平市の産業振興と産業振興課のあり方について

島村速雄議員(政和) 産業振興についてどういった基本理念でこれまで職員配置をし、取り組める人の増加を図った。

市長 ①昭和病院に確認したところ念頭に置き検討するところである。医師法による守秘義務もあり、受診者から通報等の意思がない場合積極的対応は難しいが、相談においては連携・協力が可能になると考える。

児童・女性

子ども手当支給に当たりどのような対応をしているのか

鴨打喜久男議員(政和) ①支給対象となる外国人の人数と支給者の状況は。

②市はこの政策効果をどう評価しているのか。

市長 ①本年4月1日現在、外国人登録原票に登録されている中学生までの子どもは300人。支給対象者数の正確な把握は難しい状況だが、6月の振り込み状況では受給者数は264人である。

②子育て世代の保護者の負担軽減につながるかと考えるが、現段階で評価することは難しい。

性暴力を許さない地域社会を

日向美砂子議員(生ネ) ①公立昭和病院にできる予定の女性外来との連携・協力を考えては。

②予防となる人権教育としての性教育が不足していないか。

んできたか。

市長 市内経済団体等と連携し産業の活性化を目指し各事業に取り組んでいる。職員数は平成18年度は11人で、19年度は1人いた嘱託職員に代わり正規職員を配置し、昨年度は地域連携担当主査を増員して12人とした。

これまでの取り組みは農業分野では都市農業の特色を生かした販路拡大や地産地消を進め、商工分野では融資あっせん制度の見直しやプレミアム商品券発行等への補助を行った。また、四季に応じた事業を行い、市に訪れる人の増加を図った。

実施し、その状況等を踏まえて検討していきたい。

子どもたちをたばこの害から守りたい

立花隆一議員(公明) ①公施設原則全面禁煙を求める厚生労働省通知への対応は。

②鷹の台駅前を通学する小・五中の児童・生徒数と駅での喫煙マナー向上キャンペーンの検討状況は。

市長 ①通知の内容に則した適切な受動喫煙防止対策を進めていく必要がある。

②一小児童は170人、五中生徒は20人程度である。キャンペーンについては現在実施している小平駅等の状況を踏まえ、歩きタバコや吸い殻ポイ捨ての状況等を調査して検討したい。

太陽光発電システムの設置費助成制度について

浅倉成樹議員(公明) ①助成件数拡大と申請時期の分割など、利用者への利便を図るべきでは。

②毎年6月の環境月間に合わせた助成制度の啓発は。

る。そこに指定管理者制度はなじまないと考えるが、市の見解はどうか。

市長 今回、試行的に第六小学校と学園東小学校の児童クラブに都型児童クラブ事業を導入することにより、開設時間の延長と常時資格のある指導員を配置することができると考えている。また継続的、安定的により質の高いサービスを提供する体制を確保できるものと考えている。

環境・下水道

佐藤 充議員(共産) 児童クラブの役割は、子どもたちの放課後の安全・安心な生活と成長の場を保障するもので、それは継続性と安定性が不可欠である。

②こだいら菜の花プロジェクトが集めた廃食油から精製したBDFの量は。

今後のアスベスト対策について

岩本博子議員(生ネ) ①アスベストを使った建物の解体時の近隣住民への情報提供と飛散防止対策は。

②届け出違反の防止策とチェック体制は。

市長 ①解体施工者は法に基づき掲示板による情報提供の義務がある。また、飛散対策として都または市に作業実施及び計画の届け出の義務があり、これに基づき実地調査を行い養生確認などの指導をしている。

②法に基づき解体工事などの特定建設作業の届け出時にアスベストの有無を調査、確認をしている。

地域猫問題への早期の対応とその拡充などについて

西 克彦議員(共産) ①地域猫の取り組みと野良猫の状況は。

②ボランティア活動等に応えるため新たな対応が必要では。

今後の生ごみ処理について

立花隆一議員(公明) ①三市共同資源化事業は3市の3R推進にどう影響するのか。

②立川市清掃工場の移転問題にどう対応してきたか。

市長 ①発生抑制、再使用は3市の資源化基準の統一により、3市で説明会等を開催することが市民の意識向上につながると考える。またリサイクルは軟質系プラスチック等が燃えるごみから資源に変えられるため、リサイクル率の向上が期待できると考える。

②必要に応じて情報交換や会議等の情報提供を求め、状況把握に努めている。

3Rの促進とごみ焼却場問題について

立花隆一議員(公明) ①三市共同資源化事業は3市の3R推進にどう影響するのか。

②立川市清掃工場の移転問題にどう対応してきたか。

市長 ①発生抑制、再使用は3市の資源化基準の統一により、3市で説明会等を開催することが市民の意識向上につながると考える。またリサイクルは軟質系プラスチック等が燃えるごみから資源に変えられるため、リサイクル率の向上が期待できると考える。

②必要に応じて情報交換や会議等の情報提供を求め、状況把握に努めている。

②必要に応じて情報交換や会議等の情報提供を求め、状況把握に努めている。

②必要に応じて情報交換や会議等の情報提供を求め、状況把握に努めている。

②必要に応じて情報交換や会議等の情報提供を求め、状況把握に努めている。



太陽光発電の説明を受ける市民(クリーンエネルギーフェア)



生ごみ処理機(小平第三小学校)